

Q (山野 千佳子 議員)
町民グラウンドの改修は

A (町長)
本年度の町民体育大会は、2日前からの雨で中止、今後は改修工法を検討する。

〔Q1〕 町民体育大会は、前日までの雨によるグラウンドコンディション不良のため中止。この日のためにと色々準備を進めてくれた自治会、その他の関係者は非常に落胆された。
3年前に、グラウンド改修の計画があり、試掘され、今年度は一部で土地改良が実施されているが、今後のグラウンドの改修計画はどうなっているか。

〔A1〕 状態を改善するため、昨年度は排水管調査、本年度はグラウンドの一部で土壌改良を試験的に行った。この試験結果を踏まえ、今後、改修工法を検討していきたい。

〔Q2〕 大きな予算をかけずに、真砂土をしつかり入れながら、日々グラウンドキープを行うことで、良好な状態を保つ方法もあるのではないかと。
以前は、グラウンドの管理者が、軽トラックでローラーをかけているのを見かけたが、最近あまり見ない。
NPOには、グラウンドを保全するための予算はついているのか。

〔A2〕 NPO法人には、管理をお願いしているが、グラウンドは、利用者が使ったら直すのが原則で使用してもらっている。
しかし、管理も悪くなったということでは、徐々に悪くなったのではないかと思っている。



▲ 水たまりのできたグラウンド

〔Q1〕 町民グラウンドの整備について、前回(平成26年3月)も質問をしている。
これまでに、どのような調査を行ったか。

〔A1〕 町民グラウンドは、昭和62年に完成して29年が経過している。グラウンドの水はけ状況は悪化しており、晴天であっても、前日までの降雨の影響で使用できない場合がある。このようなグラウンドの状態のため、昨年度は暗渠排水管の調査、今年度は土壌改良材による試験施工等を行った。今後は、これらの施工結果を踏まえて、改修工法を検討していきたい。

〔Q2〕 グラウンドゴルフの公認コースを整備したという話を聞いた。

町民グラウンドの整備をまず優先して考えていきたい。

Q 公共施設の維持管理と改修・修繕は

A (町長)
熊野町公共施設等総合管理計画を踏まえ、それぞれの施設ごとの維持、管理の方法を検討していきたい。



大瀬戸宏樹 議員

〔Q1〕 町内の公共施設の多くは老朽化し、この改修や更新には今後多額の費用がかかる。どのように対応していくのか。

〔A1〕 大変重要な課題であると認識している。昨年度、公共施設等総合管理計画を作成したところであり、この計画を踏まえて、各施設ごとの維持管理の適正化について検討を進める。

〔Q2〕 その総合管理計画には、今後40年で318億円必要とする試算がされており、建築物だけでも毎年の維持更新に平均で5億円不足するところ。
町は、この数字をどのように見ているのか。

〔A2〕 今後の計画の前提条件として機械的に試算したものである。日常の管理を徹底し、長寿命化を図るなど、個別に計画を立てて公共サービスのあり方を見直す。

〔Q3〕 危機的な問題提起を自らしているのだから、すぐに検討に入るべきだが、具体的な調査や検討はなされているか。

〔A3〕 それぞれの部署で調査をし、早いうちに取り組んでいきたい。



▲ 老朽化している公共施設

〔Q1〕 熊野中学校のプールは、大きさは。

〔A1〕 このプールは、25メートルが8コースと管理棟を備えている。敷地面積は1631平方メートルである。

〔Q2〕 この土地の利権者は何名か。

〔A2〕 土地所有者は、籠池受迫名義となっており、現在約30名が利権者となっている。

〔Q3〕 土地の賃借料はいくらか。

〔A3〕 土地賃借料は、1坪当たり月額85円85銭である。

〔Q4〕 プールは現在使用さ

れているか。

〔A4〕 プール使用を中止して、既に6年余りが経過している。

〔Q5〕 将来使用する計画はあるか。

〔A5〕 施設設備の老朽化が、相当程度進行しているものと思われる。しかし、次期学習指導要領の改訂を踏まえ、プール施設の存廃について結論を出していきたいので、しばらくお時間をいただきたい。



▲ 長期間使用されていないプール

Q (中原 裕侑 議員)
熊野中学校プールの将来の活用計画は

A (教育部長)
次期、学習指導要領の改訂を踏まえ、プール施設の存廃について結論を出していきたい。